

集計条件について

《集計対象》

平成 30 年度退院又は転棟した患者

《集計対象施設数》

施設類型	施設数
大学病院本院群	82
DPC 特定病院群	155
DPC 標準病院群	1493
DPC 準備病院	260
出来高算定病院	2774

《合併・分割病院の取扱い》

以下、表記の月を集計対象としている。

独立行政法人国立病院機構まつもと医療センター

- ・独立行政法人国立病院機構まつもと医療センター中信松本病院（合併前）は、4月分の1カ月データ
- ・独立行政法人国立病院機構まつもと医療センターは、主となる病院としてデータ提出継続のため、4～3月分の12カ月データ（合併前後で同一医療機関扱い）

地方独立行政法人 桑名市総合医療センター

- ・桑名西医療センター、桑名南医療センターは、4月分の1カ月データ
- ・地方独立行政法人 桑名市総合医療センターは、主となる病院としてデータ提出継続のため、4～3月分の12カ月データ（合併前後で同一医療機関扱い）

地方独立行政法人 茨城県西部医療機構 茨城県西部メディカルセンター

- ・筑西市民病院、県西総合病院組合県西総合病院は、4～9月分の6カ月データ
- ・地方独立行政法人 茨城県西部医療機構 茨城県西部メディカルセンターは、10～3月分の6カ月データ

岡山済生会総合病院

- ・岡山済生会総合病院は、主となる病院としてデータ提出継続のため、4～3月分の12カ月データ（合併前後で同一医療機関扱い）
- ・分割後の岡山済生会外来センター病院は、9～3月分の7カ月データ

《当該年度出来高算定病院の取り扱い》

集計対象期間内に提出された本データを集計対象（試行データは集計対象除外）。

《震災等の影響による医療機関データの取り扱い》

以下、震災等の影響により提出データの一部月もしくは全月のデータが不足している。

- ・平成 28 年（2016 年）熊本地震による影響
東熊本病院
- ・平成 30 年 7 月豪雨による影響
まび記念病院
医療法人仁康会本郷中央病院

《集計条件・公表条件》

次ページ①～⑨（⑤、⑥を除く）は症例数が 10 症例未満および 0 件の医療機関は公表の対象外として、
 ‘－’ マークで表示した。

- (1) 診断群分類を用いた集計および MDC 別集計には、平成 30 年度診断群分類を使用。
- (2) 下記項目に該当する場合は分析対象から除外した。なお、当該年度において辞退届（データ提出加算辞退届等）の提出を行った医療機関も集計より除外した。

集計条件については下記の通り集計①～⑨の内容により集計の条件を変更している。

分析対象外項目	①、⑤、⑦、 ⑧、⑨	②～④	⑥
診療録情報の重複提出	○	○	○
レセプトデータの不足	○	○	○
在院日数 1 日以下 ※1	○		○
外泊 ≥ 在院日数	○	○	○
年齢 0 歳未満 120 歳超	○	○	○
入退院生年月日の誤り	○	○	○
1 日当りの点数が 1200 点未満	○	○	○
自費のみ、保険と他制度の併用及び臓器提供者等	○	○	○
一般病棟以外の病棟との移動（一般病棟以外の入院あり） ※2	○	○	○
24 時間以内の死亡 ※1	○		○
特定入院料なしで入院基本料 0 点以下	○	○	○
治験の実施	○	○	○
移植手術あり	○	○	○
平成 30 年 3 月 31 日以前入院の患者	○	○	○
厚生労働大臣が定めるもの	○	○	
生後 7 日以内の死亡 ※1	○		○
DPC 該当せず	○	○	○
同日再入院	○	○	○

※ 今回の集計においてアウトライヤー処理を行っていない。

《集計表について》

①MDC 別・医療機関別件数（割合）

手術の「有り」「無し」は様式 1 に手術があったものを「有り」として集計。但し、実施した手術が輸血関連手技（K920 輸血、K920-2 輸血管理料および K923 術中術後自己血回収術）のみの症例の場合は「無し」として集計。

②予定・救急医療入院区分の医療機関別・MDC 別集計

様式 1 の予定・救急医療入院区分を集計。

分析対象外項目の「生後 7 日以内の死亡」、「24 時間以内の死亡」、「在院日数 1 日以下」の 3 項目についても分析対象として集計。※1

③救急車による搬送の有無の医療機関別・MDC 別集計

様式1の救急車による搬送の有無を集計。

分析対象外項目の「生後7日以内の死亡」、「24時間以内の死亡」、「在院日数1日以下」の3項目についても分析対象として集計。※1

④入院から24時間以内の死亡の有無の医療機関別・MDC別集計

様式1の入院から24時間以内の死亡の有無を集計。

分析対象外項目の「生後7日以内の死亡」、「24時間以内の死亡」、「在院日数1日以下」の3項目についても分析対象として集計。※1

⑤診断群分類毎の集計

出現しなかった項目（件数0）については空欄で表示。

- ・性別、入院情報（他院よりの紹介等）、入院経路、退院先、退院時転帰の集計については、それぞれ様式1の性別、入院情報（他院よりの紹介の有無等）、入院経路、退院先、退院時転帰より集計。
- ・年齢は、「年齢＝様式1の入院年月日－様式1の生年月日」として集計。
- ・在院日数は「在院日数＝様式1終了日－様式1開始日+1－EFファイルから集計した外泊日数」として集計（その他病棟の入院を含む在院日数についても集計。その際、※2の条件はその他病棟への入院があった症例も集計対象としている）。
- ・医療資源を最も投入した傷病ICD10集計
医療資源最多傷病ICD10の件数の上位10のICD10コードを表示。（但し、同順位のものについてはICD10コードの昇順で表示）
- ・入院時併存症及び入院後発症疾患ICD10集計
様式1の入院時併存症及び入院後発症疾患から疑い病名を除くICD10件数を集計し、ICD10の件数の上位10のICD10コードを表示。（但し、同順位のものについてはICD10コードの昇順で表示）1症例に同ICD10入力の場合は1件とカウント。
- ・手術集計
K920輸血、K920-2輸血管理料、K923術中術後自己血回収術は集計対象から除外。様式1の手術点数表コードから件数を集計し、Kコードの件数の上位10の術式を表示。（但し、同順位のものについてはKコードの昇順で表示）。様式1上、手術側数が3.左右となっていた場合2件とカウント。
- ・主要処置等
集計項目の人工呼吸、中心静脈注射、人工腎臓についてはEFファイルより集計。輸血（K920輸血）についてはEFファイル及び様式1より集計。

⑥化学療法のレジメン

悪性腫瘍の疾患（診断群分類番号頭6桁）別に、化学療法のレジメン別件数、割合、平均在院日数を集計（上位30）。

悪性腫瘍の疾患で100件に満たなかったものは集計より除外。

レジメン欄の括弧内の数字は上表の薬剤を表す。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
症例数	1620	941	744	297	220	109	86	84	82	80	59	57	55	50	49	42	38	37	33
↑%	78.8%	28.1%	5.3%	2.1%	1.6%	0.8%	0.6%	0.6%	0.6%	0.6%	0.4%	0.4%	0.4%	0.4%	0.3%	0.3%	0.3%	0.3%	0.2%
使用レジメン数	71	47	37	28	19	4	13	5	18	11	3	9	14	8	9	9	10	3	6
↑%	37.4%	24.7%	19.5%	14.7%	10.0%	2.1%	6.8%	2.6%	9.5%	5.8%	1.6%	4.7%	7.4%	4.2%	4.7%	4.7%	5.3%	1.6%	3.2%
施設数	1207	911	202	93	70	88	28	28	70	67	13	54	26	21	37	32	18	30	30
↑%	95.5%	72.1%	16.0%	7.4%	5.5%	7.0%	2.2%	2.2%	5.5%	5.3%	1.0%	4.3%	2.1%	1.7%	2.9%	2.5%	1.4%	2.4%	2.4%

順位	症例数	←割合	←累積	施設数	←割合	在院日数平均	レジメン
1	8420	60.1%	60.1%	1152	91.1%	25.7	ゲムシタピン塩酸塩(1)
2	2055	14.7%	74.8%	646	51.1%	31.6	ゲムシタピン塩酸塩(4)+テガフル・ギメラシル・オテラシルカリウム配合(2)
3	1711	12.2%	87.0%	663	52.5%	27.9	テガフル・ギメラシル・オテラシルカリウム配合(2)
4	236	1.7%	88.7%	88	7.0%	14.2	ゲムシタピン塩酸塩(1)+シスプラチン(3)
5	133	0.9%	89.7%	31	2.5%	9.9	イリノテカン塩酸塩水和物(5)+シスプラチン(3)
6	123	0.9%	90.5%	43	3.4%	8.3	シスプラチン(3)
7	105	0.7%	91.3%	85	6.7%	29.7	イマチニブメシル酸塩(6)

⑦疾患別手術別集計

疾患（診断群分類番号頭 6 桁）別に手術（診断群分類番号 9,10 桁目）毎に件数、割合、平均在院日数を集計。

尚、再掲の輸血以外とは、K920 輸血、K920-2 輸血管管理料および K923 術中術後自己血回収術以外を指す。

⑧疾患別手術有無別処置 1・2 有無別

疾患（診断群分類番号頭 6 桁）別手術有無（実施した手術が、輸血関連手技（K920 輸血、K920-2 輸血管管理料および K923 術中術後自己血回収術）のみの症例は「無し」として集計）別に手術処置等 1・2 有無別に件数、割合、平均在院日数を集計。

⑨MDC 別手術有無別処置 2 の有無別集計

処置 2 が定義されている疾患（診断群分類番号頭 6 桁）を対象に、MDC 別手術有無（実施した手術が、輸血関連手技（K920 輸血、K920-2 輸血管管理料および K923 術中術後自己血回収術）のみの症例は、「無し」として集計）別に手術処置等 2 有無別に件数、割合を集計。また、全ての疾患を対象に、人工呼吸、人工腎臓（1：慢性時維持透析を行った場合、2：慢性維持透析濾過（複雑なもの）を行った場合、3：その他の場合）、中心静脈注射があったものについて件数、割合を集計。